

令和2年(2020年)

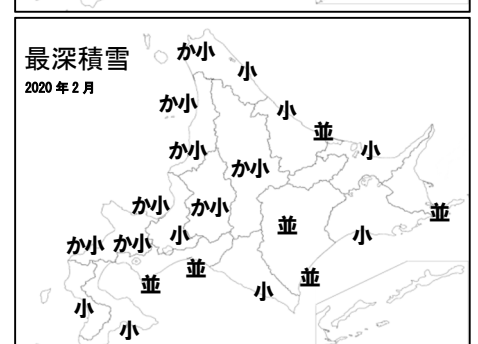
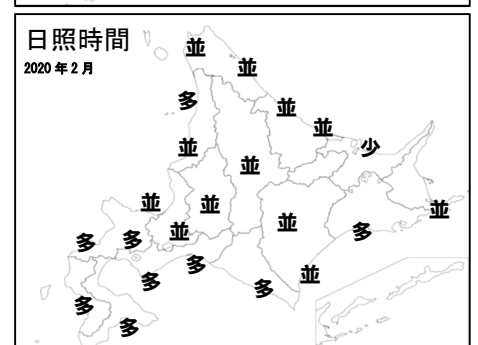
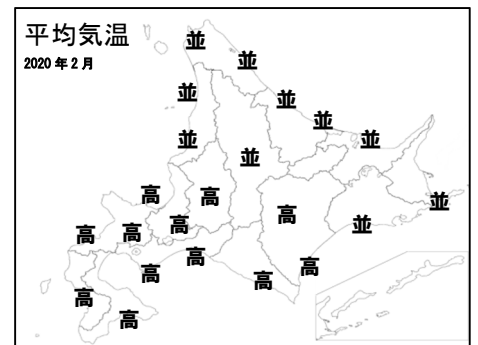
札幌管区気象台 気象防災部  
地球環境・海洋課  
(2020年3月2日)

# 北海道地方 2月の天候

気候表 (データは速報値であり、後日変更される場合があります)

官署名	本年			平年差・平年比			降雪の 深さ合計 cm	月最深 積雪 cm
	気温 ℃	降水量 mm	日照時間 h	気温 ℃	降水量 %	日照時間 %		
稚内	-4.2	39.5	73.4	+0.5	65	91	83	17
北見枝幸	-5.2	55.5	96.0	+0.8	101	88	102	75
羽幌	-3.8	36.0	91.4	+0.7	45	112	67	42
雄武	-6.0	41.5	122.4	+0.6	137	101	62	54
留萌	-3.3	35.5	78.2	+0.8	51	108	66	33
旭川	-5.8	49.0	117.5	+0.7	96	111	94	65
網走	-5.5	39.0	129.2	+0.5	108	93	67	38
小樽	-1.8	116.0	82.2	+1.1	110	105	165	69
札幌	-2.1	157.0	99.6	+1.0	167	96	195	80
岩見沢	-4.0	61.5	121.7	+1.0	74	108	116	52
帯広	-4.9	43.5	198.9	+1.3	175	105	62	63
釧路	-4.0	27.0	202.5	+0.7	119	111	24	21
根室	-3.6	36.5	165.5	+0.7	162	100	32	23
寿都	-1.0	76.5	54.4	+1.1	98	117	102	28
室蘭	-0.9	52.0	149.7	+1.0	121	123	52	25
苫小牧	-2.3	36.0	149.4	+1.1	107	106	51	21
浦河	-1.4	20.0	184.5	+1.0	82	114	20	9
江差	0.6	59.0	69.4	+1.1	100	118	34	11
函館	-0.7	49.5	131.9	+1.4	83	111	71	19
倶知安	-4.0	90.0	74.9	+1.2	68	114	158	95
紋別	-5.4	38.5	120.7	+0.5	126	101	75	46
広尾	-3.3	67.5	164.3	+1.0	127	102	82	77

## 階級分布図



注)「)」付きの値は欠測を含む。「)」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

(気温は平年差(℃)、降水量・日照時間・降雪量は比(%)を示す)

	気温	階級	降水量	階級	日照時間	階級	降雪量	階級
北海道22地点平均	+0.9	高	106	多	106	並	80	少
日本海側10地点平均	+0.9	高	87	少	108	並	71	か少
ホツツ海側4地点平均	+0.6	並	118	多	96	並	76	少
太平洋側8地点平均	+1.0	高	122	多	109	多	93	並

## 月統計値の記録 (第3位まで)

(詳細は、最終ページの表を参照してください。)

月降水量 (少ない) 第3位 留萌

階級は、概ね「高(多)」、「並」、「低(少)」の3段階に分けています。  
各階級の幅は、平年値の作成期間(1981年~2010年の30年間)における各階級の出現率が1:1:1となるように決めてあります。  
また、平年値作成期間内の上位、下位10%の範囲に入る場合は「か高(多)」、「か低(少)」(か→かなり)で表します。

— 『高温・多雨（少雪）・並照』 低気圧の影響で多雨となるも、寒気弱く少雪 —

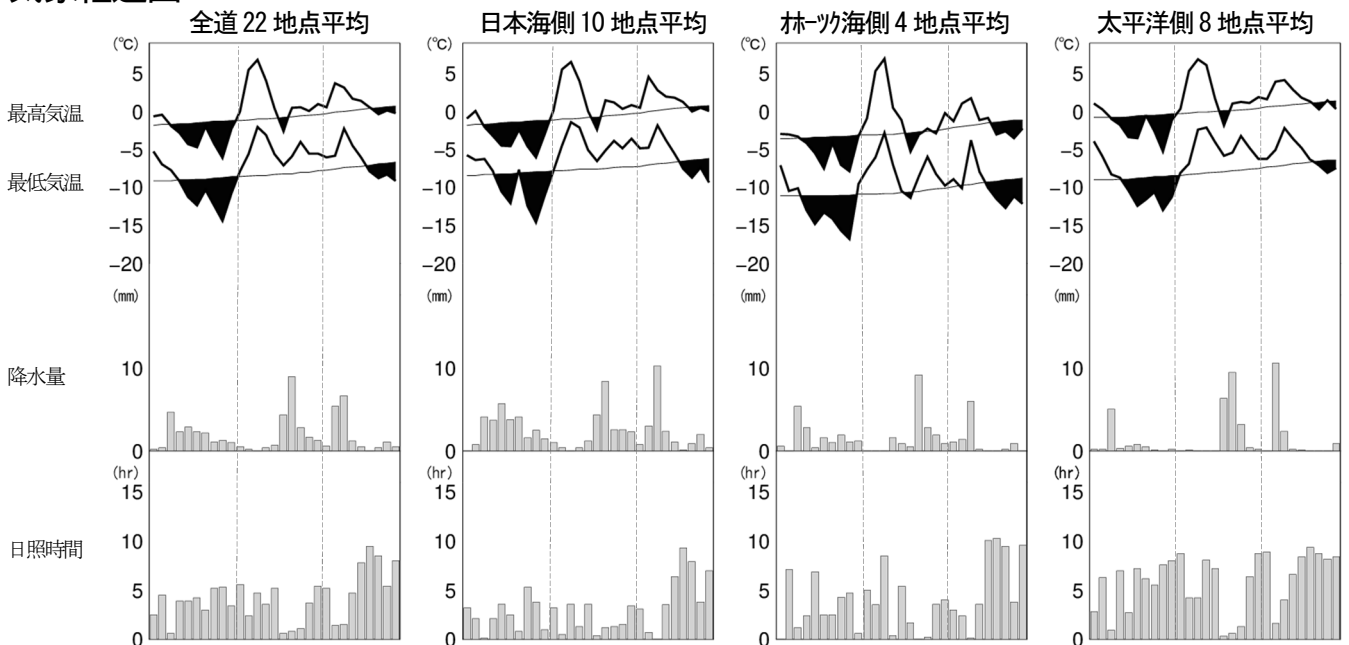
この期間の天気は、上旬は冬型の気圧配置となって、日本海側やオホーツク海側では雪の降った日が多く、太平洋側では晴れた日が多かった。中旬は、はじめ高気圧の張り出しの中となって広い範囲で晴れたが、その後は冬型の気圧配置や低気圧の影響で雪や雨の降った日が多かった。下旬は発達した低気圧の影響により広い範囲で雪や雨が降った日もあったが、高気圧の張り出しの中となって広い範囲で晴れた日が多かった。気温は、上旬は平年より低かったが、中旬はかなり高く、月平均気温も高かった。降水量は、いずれの旬も平年並だったが、月降水量は平年より多かった。日照時間は、中旬は平年より少なかったが、下旬はかなり多く、月間日照時間は平年並だった。降雪量は上旬と下旬は平年より少なく、月降雪量も少なかった。なお、中旬の日本海側と太平洋側、および北海道地方の気温は1961年の統計開始以降で最も高かった。

上旬:1日は冬型の気圧配置となってオホーツク海側で雪が降ったが、日本海側や太平洋側では晴れた所もあった。2日は気圧の谷の影響により日本海側で雪が降ったが、オホーツク海側と太平洋側は晴れた所が多かった。3日は前線を伴った低気圧が通過して全道的に雪が降った。4日は冬型の気圧配置となって日本海側やオホーツク海側を中心に雪が降ったが、太平洋側では晴れた。5日は冬型の気圧配置と低気圧の影響により日本海側で雪の降った所があったが、晴れた所も多かった。日降雪量は札幌市中央区で41cmなど。6日は冬型の気圧配置となって日本海側やオホーツク海側を中心に雪が降ったが、太平洋側を中心に晴れた所も多かった。7日は低気圧を含む気圧の谷の影響により日本海側やオホーツク海側で雪が降ったが、太平洋側東部では晴れた。8～10日は冬型の気圧配置となって日本海側やオホーツク海側で雪が降ったが、太平洋側を中心に広い範囲で晴れた。

中旬:11～13日は高気圧の張り出しの中となって晴れた所が多かったが、日本海側では雪の降った所もあった。14～15日は冬型の気圧配置となって日本海側やオホーツク海側で雪や雨が降ったが、太平洋側では概ね晴れた。16日は低気圧が接近して雪の降った所が多かった。17～18日は発達した低気圧の影響で全道的に雪や雨が降り、17日は大荒れの天気となった所もあった。19～20日は冬型の気圧配置となって日本海側を中心に雪が降ったが、太平洋側では晴れた所が多かった。

下旬:21日は冬型の気圧配置となって雪の降った所があったが、次第に高気圧の張り出しの中となって太平洋側を中心に晴れた所が多かった。22日は前線を伴った低気圧が接近して全道的に雨や雪が降った。23日は発達した低気圧の通過とその後の冬型の気圧配置の影響により広い範囲で雪や雨が降ったが、太平洋側東部では晴れた。24日は冬型の気圧配置により日本海側を中心に雪が降ったが、太平洋側では晴れた所が多かった。25～27日は高気圧の張り出しの中となって全道的に晴れたが、気圧の谷の影響により日本海側で雪が降った所があった。28日は気圧の谷の影響により日本海側で雪の降った所が多かったが、太平洋側を中心に晴れた所も多かった。29日は高気圧の張り出しの中となって広い範囲で晴れたが、低気圧を含む気圧の谷が接近して日本海側南部や太平洋側西部で雪が降った。

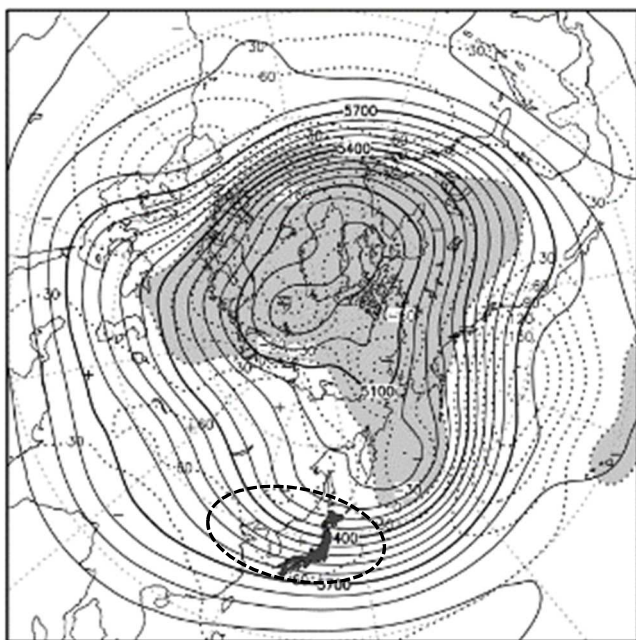
気象経過図



旬別気候表 (気温は平年差(℃)、降水量と日照時間は平年比(%)を示す)

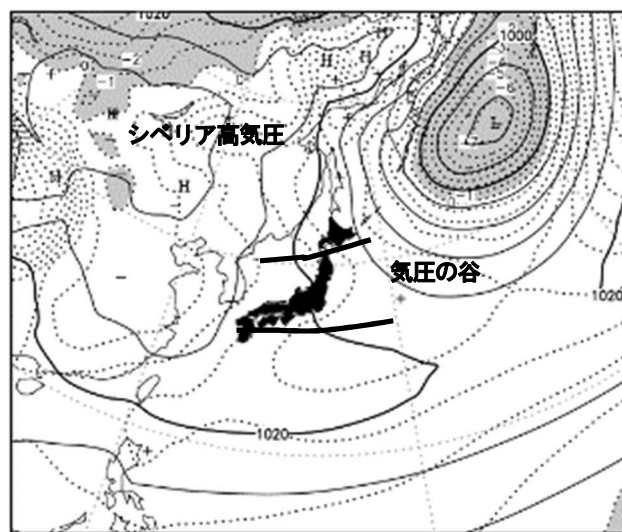
	北海道全域			日本海側			オホーツク海側			太平洋側		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
気温	-1.4 低	+3.3 中高	+0.7 並	-1.7 低	+3.4 中高	+0.9 高	-1.4 低	+3.4 中高	-0.3 並	-1.1 低	+3.2 中高	+1.0 高
降水	109 並	112 並	96 並	93 並	86 並	84 並	158 多	125 多	77 並	106 並	139 多	121 多
日照	93 並	81 少	146 多	93 並	75 少	153 多	78 少	75 少	139 多	101 並	91 少	141 多

## 2月の大気の流れ（北半球の平均天気図の特徴）



2月の500hPa天気図

実線：等高度線（m）、点線：高度の年平均偏差（m）  
 陰影部は、平年より高度の低い負偏差の領域を示す。この領域では平年より気温が低い傾向がある。  
 日本の上空では、風は等高度線に沿って西から東に吹いている。等高度線が南北に波打っている状態は偏西風が進行していることを、等高度線の間隔が狭い所では偏西風が強いことを示す。



2月の地上天気図

実線：等圧線（hPa）、点線：気圧の年平均偏差（hPa）  
 陰影部は、平年より気圧が低いことを示す。この領域では、平年より気圧の谷や低気圧の影響を受けやすい。

### ・500hPa（上空約5500m）天気図

日本付近は高度が高く偏西風は平年より北よりを流れ、北海道付近も暖かい空気に覆われやすかった。一方、東シベリアからカムチャツカ半島付近は高度が平年より低く、北海道付近は寒気の影響を受けた時期があった。

### ・地上天気図

日本付近の冬型の気圧配置は平年より弱く、北海道付近も冬型の気圧配置が長続きしなかったが、上旬にはシベリア高気圧が強まり、北海道付近の冬型の気圧配置が強まる時期もあった。

また、北海道の南が気圧の谷となり、低気圧の影響を受ける日もあった。

## 北海道上空の気温経過

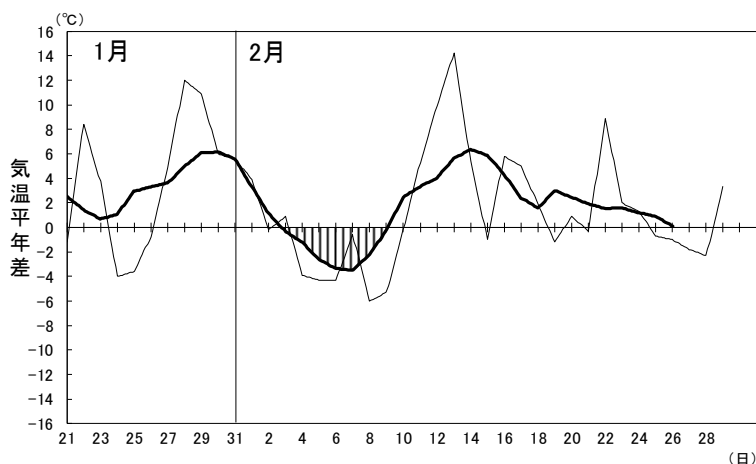
### 2月の札幌における850hPaの気温平年差

#### ・7日移動平均（太線）

上旬は平年を下回る時期があったが、その後は平年を上回った。

#### ・日別値（細線）

上旬は平年を下回る日が多かったが、その後は平年を上回る日が多く、13日頃は平年を大きく上回った。



1月下旬から2月の札幌における850hPa(上空約1500m)気温平年差  
 (細線：日別、太線：7日移動平均、陰影線：7日移動平均の負偏差)

月統計値の記録の詳細 (第3位まで)

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
2月	月降水量 (少ない)	第3位	留萌	35.5 mm	51 %	31.0 (2011)	1943

お問い合わせ先

札幌管区気象台気象防災部 地球環境・海洋課  
TEL (011) 611-6174